

CRF150R CRF150R II | 開発のねらい

オフロード競技の初心者や 250cc クラスへのステップアップを目指すライダーに、ジャストな車体サイズと 4 ストロークエンジンの力強い出力特性で評価の高い CRF150R は、2012 年モデルの開発において、エンジンと車体のさらなる扱いやすさの向上と、高出力でありながらレスポンスの良い出力特性を追求しました。

開発コンセプトは、

ステップアップを目指すライダーのベストマシン

「Small But Real One」

このコンセプトを実現するために、下記テーマを定めて開発を進めました。

●最強のパワー - 伸びのある中・高回転域の出力

- ・シリンダーヘッドの燃焼室形状変更とピストンの剛性アップ
- ・インレット側カムプロフィールの変更
- ・クランクケース内ブリージング穴の追加

●意のまま - リニアなスロットル特性

- ・加速ポンプ直押し仕様 FCR キャブレターの採用
- ・キャブレターセッティングと CDI 点火時期の変更

- 路面追従性向上

- ・前・後サスペンションセッティングの変更

●憧れ - CRF250R CRF450R のイメージを継承

- ・上級機種と同一デザインのストライプ採用

さらなる高みを目指すライダーたちが、この CRF150R で体得するスキルは多岐にわたりますが、開発チームは何より「扱いやすい速さ」によって「競い合う楽しさ」を味わっていただきたいと願って作り込みました。